宮城県本吉響高等学校
校訓　響生・知性・至誠

農場通信

発行者　本吉響高等学校農業科
発行日　令和3年7月8日　第3号

今年は例年と比べると遅い梅雨入りとなりました，連日の雨模様は憂うつですが，畑や田んぼにとっては恵みの雨です。大地を潤し，夏の暑さを乗り越えるエネルギーを植物に供給します。この「梅雨」の語源については，ちょうどこの頃に梅の実が熟すため黴が生えやすいため「黴雨」といったのが，同じ読みの梅になったためといった説が有名です。また，誤解している人が多いのが「五月晴れ」です。これは，五月のさわやかな日本晴れを表す言葉ではなく，梅雨の合間の晴れを指す言葉です。

第40回全国豊かな海づくり大会で本校の花苗が飾られます

第40回全国豊かな海づくり大会が10月2日，3日に石巻港を中心に催されます。本来は昨年開催する予定でしたが，コロナ禍の影響により一年延期となりました。本校では実行委員会からの依頼を受けて，メインステージを装飾するための花苗を栽培することになりました。大会当日の開花に向けて，先日「マリーゴールド」の種をまきました。

現在，順調に生育していますが天皇陛下が参列する予定のステージ装飾に向けて，栽培・管理を続けていきます。

響マリーゴールドをPRしていきます

【全国豊かな海づくり大会とは】

水産資源の維持と海の環境保全に対する意識の高揚を図るとともに，水産業に対する認識を深めるためのイベントです。大会式典には天皇・皇后の出席が慣例となっており、全国植樹祭・国民体育大会・国民文化祭と並び「四大行幸啓」の一つになっています。

野菜の生育が旺盛です

５月に農業選択の生徒が定植したトマトやキュウリ等の夏野菜の収穫が始まりました。今年は既に梅雨入りしたものの比較的天候に恵まれて生育も順調です。

６月中旬から収穫が始まり，新鮮野菜が事務室前にて毎日販売されており，夏休みまで引き続き忙しい管理作業が続きます。

【知っていますか？】
宮城県の大豆生産量は北海道に次いで全国第２位です。特に有名な品種は「ミヤギシロメ」です。

大豆も大きくなりました

実験中のジャンボキュウリです

絶品のプチぶよです

新鮮野菜を毎日販売しています

シクラメンも順調です

４月に苗を購入したシクラメンも生育が順調です。先日，６号鉢に鉢上げを行い，同時に殺菌剤も散布しました。シクラメンは多湿を嫌うので梅雨時期の管理は神経を使います。カビや雑菌の繁殖に注意し，冬の開花に向けて約５００鉢を管理していきます。乞うご期待ください。

本葉が１０枚程度展開しました

稲の分げつが始まりました

５月中旬に田植えをした稲の成長も順調です。植え付け後も晴天に恵まれ，分げつも進んでいます。分げつとは種子から発生した茎を主茎といいますが，通常，主茎には十数個の節があり，この節から芽が発育して，更に多くの茎を出すことを「分げつ」と言います。

１本の稲が分げつを繰り返し，２本，３本に増えていきます。収穫するする際には30本前後になることもあります。

実験中のバケツ苗

農業クラブの活躍情報

本校人間環境系列の農業選択生徒は「農業クラブ」に所属しています。これは全国的な組織で，農業高校を中心として全国で約９万人が加盟しています。その中で，様々な競技会（測量，意見発表，プロジェクト発表等）を実施しており，今年は兵庫県で全国大会が開催されます。先日，その予選となるクラブ活動紹介に出場し，日頃の学習成果を発表しました。残念ながら奨励賞でしたが，今後も頑張ります！

おや！キュウリから…

小野寺由希子先生より，実から葉が発生した奇妙なキュウリが収穫できたとの連絡がありました。（右写真）

これは野菜の「全能性」という性質によるもので，野菜のどの部分も葉・茎・花・根になる性質のことです。ストレスにより発生したものです。